

秋田大学大学院医学系研究科医学専攻(博士課程)の平成21年度設置計画履行状況報告書(事前伺い)を下記により公表いたします。

平成21年7月

○設置計画履行状況報告書(事前伺い)(平成21年度)

- ・調査対象大学等の概要
- ・授業科目の概要
- ・既設大学等の現状

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 秋田大学

## (2) 大学名

秋田大学大学院

## (3) 大学の位置

〒010-8543  
秋田県秋田市本道一丁目1の1  
(〒010-8502)  
(秋田県秋田市手形学園町1番1号)

(注) 『(3) 大学の位置』は、対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 2 様式は, 平成19年度開設の博士後期課程の場合(平成21年度までの3年間)ですが, 開設年度に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)  
 3 定員を変更した場合は, 備考欄に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(4) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
医学系研究科 医学専攻(博士課程)  博士(医学)	年  4	人  30	人  120	基礎となる学部名等  医学部

(注) 「備考」欄に基礎となる学部等の名称を記入してください。

(4) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度 平成19年度	平成20年度	平成21年度	平均入学定員 超過率	備考
A 入学定員	30人 ( )	30人 ( )	30人 ( )	倍  1.00	
志願者数	(19) 25	(19) 34	(19) 33		
受験者数	(18) 24	(19) 34	(19) 33		
合格者数	(18) 24	(19) 34	(19) 33		
B 入学者数	(17) 23	(19) 34	(19) 33		
入学定員超過率 B/A	(17) 76.67	(19) 113.33	(19) 110.00		

(注) 1 ( )内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

2 「平均入学定員超過率」欄には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(4) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度 平成19年度	平成20年度	平成21年度	備考
1年次	[1] 23	[2] 34	[2] 33	
2年次	[ ]	[1] 22	[2] 33	
3年次	[ ]	[ ]	[1] 22	
計	[1] 23	[3] 56	[5] 88	

(注) 1 [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(4) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成19年度	計 1 [ ]	計 23 [ 1 ]	[ %] 4.3 %
	うち平成19年度入学者 1人	うち平成19年度 23人	
	(主な退学理由) ・転居により勤務先変更		
平成20年度	計 1 [ ]	計 56 [ 3 ]	[ %] 1.8 %
	うち平成19年度入学者 0人	うち平成19年度 22人	
	うち平成20年度入学者 1人	うち平成20年度 34人	
	(主な退学理由) ・勤務先変更		
平成21年度	計 0 [ ]	計 88 [ 5 ]	[ %] 0.0 %
	うち平成19年度入学者 0人	うち平成19年度 22人	
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 33人	
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 33人	
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 [ ]	計 [ ]	[ %] %
	うち平成19年度入学者 人	平成19年度 人	
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	
(主な退学理由)			

(注)1 [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は、各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学  
 ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

## 2 授業科目の概要

<医学系研究科 医学専攻>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
クラスター共通基礎科目	細胞機能基礎・実技	1	2			5+	1	1	1		オムニバス形式に変更のため、教員追加(20)
	細胞形態基礎・実技	1	1			2+	2	2+	1		
	細胞培養基礎・実技	1	1			2+	1	2	3		
	遺伝子操作基礎・実技	1	1			2+		1	1		
	蛋白解析基礎・実技	1	1			12	1		2		
	動物実験基礎操作・実技	1	1			5	2	1			
	電気生理基礎・実技	1	1			8+					
医用統計疫学基礎・実技	1	2			2	1		1			
クラスター専門科目	薬理学・実習	1~2		1		1		+			担当教員の異動により、教員数減(21)
	アレルギー学・実習	1~2		1		1	1				講義内容の追加により、教員数増(20)
	呼吸器学・実習	1~2		1		1	2	1			担当教員の異動により、教員数増減(21)
	神経科学・実習	1~2		1		82	1	1			オムニバス形式に変更のため、教員追加(20)
	薬学・実習	1~2		1			+	1			
	循環器外科学・実習	1~2		1		1	1				講義内容の追加により、教員数増(20)
	循環器学・実習	1~2		1		1	1				講義内容の追加により、教員数増(20)
	麻酔学・実習	1~2		1		1	1				講義内容の追加により、教員数増(20)
	細胞生物学・実習	1~2		1		3	+	12			講義内容の追加、教員の昇進により、教員数変更(20)
	生体調節外科学・実習	1~2		1		1	+	1			講義内容の追加により、名称変更(20) 教員の異動により、教員数減(20)
消化器外科学・実習	1~2		1								
生体力学・実習	1~2		1		1	1	2			講義内容の追加により、教員数増(20)	
病理学	細胞病理学・実習	1~2		1		1					
	肝臓病理学・実習	1~2		1		1					
	心臓血管病理学・実習	1~2		1		12	1		1		講義内容の追加、教員の異動により、教員数変更(20)
	循環病態学・実習	1~2		1		1	+				教員の異動により、教員数減(20)
	小児外科学・実習	1~2		1		1	2+	1			講義内容の追加により、教員数増(20)
	肺疾患・実習	1~2		1		1	1	2			講義内容の追加により、教員数増(20)
	細胞の超微細構造・実習	1~2		1			1				
	腎不全の病態学・実習	1~2		1			1				
	周産期の病理学・実習	1~2		1		1	+				教員の異動により、担当教員変更(20)
	東洋医学・実習	1~2		1		1	12	1			講義内容の追加により、名称変更・教員数増(20)
外傷学・実習	1~2		1								
基礎腫瘍学・実習	1~2		1		2	1	1	1		クラスターの統合・追加に伴い新設(20)	
臓器発生・再生系	再生医学・実習	1~2		1		2+	1	2			講義内容の追加により、教員数増(20)
	毛髪の再生学・実習	1~2		1		1			1		講義内容の追加により、教員数増(20)
	造血系の再生学・実習	1~2		1		1	1	1	2		クラスターの統合・追加に伴い新設(20)
	心・血管再生学・実習	1~2		1		2	1	1			クラスターの統合・追加に伴い新設(20)
	骨・軟骨・歯の再生学・実習	1~2		1			1		2		クラスターの統合・追加に伴い新設(20)
	肝再生学・実習	1~2		1		2	+				教員の異動により、教員数減(20)

	<b>臓器再生系</b>	再生医学・実習 毛髪の再生学・実習 肝臓外科学・実習 血管外科学・実習 骨の再生学・実習 肝再生学・実習											
	<b>発生・腫瘍系</b>	発癌機構と癌遺伝子学・実習 癌細胞生物学・実習 放射線腫瘍学・遺伝子多型・発生異常・実習 臨床腫瘍学・実習 癌治療学・実習 腫瘍外科学・実習										クラスターの統合・追加に伴い、削除 (20)	
代謝・情報系		肝臓学特論・実習	1~2	1		1 2	1		2			講義内容の追加により、教員数増 (20)	
		代謝学特論・実習	1~2	1		1		2 1				講義内容の追加により、教員数増 (20)	
		糖尿病学特論・実習	1~2	1		1	1	1				担当教員の異動により、教員数増 (20)	
		イオンチャネルと神経機能学・実習	1~2	1		5 1	1	1				講義内容の追加により、教員数増 (20)	
		神経伝達機構・実習	1~2	1		8 2						講義内容の追加により、教員数増 (20)	
		脳・神経代謝機能学・実習	1~2	1		1	1	2				講義内容の追加により、教員数増、名称変更 (20)	
		中毒学・実習	1~2	1		1							
クラスター専門科目	<b>炎症・免疫系</b>	免疫学 (I) (II)・実習	1~2	1		1						クラスター内講義科目の追加により統合、担当教員数変更 (20)	
		炎症学・アレルギー学・実習	1~2	1		1 2	1					講義内容の分割により、教員数変更、名称変更 (20)	
		血液学・膠原病・実習	1~2	1		1	1					講義内容の追加により、教員数変更、名称変更 (20)	
		癌免疫学・実習	1~2	1		1	1					講義内容の追加により、教員数増 (20)	
		炎症学 (I)・実習	1~2	1		1	1	1				講義内容の追加により、教員数増 (20)	
		炎症学 (II)・実習	1~2	1		1	2					講義内容の分割により、新設 (20)	
		炎症と全身管理学・実習	1~2	1			1	2				講義内容の追加により、教員数増 (20)	
		<b>神経科学系</b>	イオンチャネルと神経機能学・実習	1~2	1		5 1	1	1				講義内容の追加により、教員数増 (20)
			神経伝達機構・実習	1~2	1		8 2						講義内容の追加により、教員数増 (20)
			神経科学・実習	1~2	1		8 2	1	1				オムニバス形式に変更のため、教員追加 (20)
社会医学系		睡眠学・実習	1~2	1		2 1						講義内容の追加により、教員数増 (20)	
		脳神経外科学・実習	1~2	1		1	1					講義内容の追加により、教員数増 (20)	
		運動生理学・実習	1~2	1		2	1					講義内容の追加により、教員数増 (20)	
		神経眼科学・実習	1~2	1		3 1						講義内容の追加により、教員数増 (20)	
		神経放射線医学・実習	1~2	1			1	1	1			講義内容の追加により、教員数増 (20)	
		脳代謝機能学・実習	1~2	1		1							
		蘇生学・実習	1~2	1		1 2	1					教員の異動により、教員数変更 (20)	
		脳神経解剖学・実習	1~2	1		1 2		1				講義内容の変更により、教員数減 (20)	
社会医学系		法医学学・実習	1~2	1		1						講義科目の追加により、新設 (20)	
		中毒学・実習	1~2	1		1							
		環境保健学・実習	1~2	1		1						講義内容の追加により、名称変更 (20)	
		環境学・実習											
		健康増進・実習	1~2	1		1	1					講義内容の追加により、教員数増 (20)	
		医療情報システム学・実習	1~2	1		1 2						講義内容の変更により、教員数減 (20)	
		データベース活用論	1~2	1		1	1					講義内容の追加により、教員数増 (20)	
社会医学系		医学英語・活用実習	1~2	1				1					
		空間統計学・実習										必修科目の内容に追加したため、削除 (20)	
		がんの生物学と社会医学	1~2	1		3	2	2				クラスターの新設に伴い、新設 (20)	

がん治療専門医養成系	<b>がんの生物学と社会医学</b>	1~2	1	3	2	2		がんプロフェッショナル養成プランの実施に伴い、新設(20)	
	日本人に多い五大固形がんの診断と治療	1~2	1	1	2	2			
	<b>非固形がんの診断と治療</b>	1~2	1		1	1	2		
	化学療法と免疫療法の基礎と臨床	1~2	1	1	1				
	外科療法と放射線療法の基礎と臨床	1~2	1	1	1		2		
	進行がんへの対処、緩和療法、支持療法	1~2	1	3			2		
自殺予防学系	<b>自殺対策基本法と自殺総合対策</b>	1~2	1	1	1			自殺予防学の研究コース設置に伴い、新設(20)	
	地域における自殺の現状と対策	1~2	1	1	1				
	医療的側面からみる自殺行動	1~2	1	2	0				
	自殺対策へ向けた新たな方向性	1~2	1	1	1				
	<b>自殺対策のあり方</b>	1~2	1	1	1				
	<b>自殺予防活動の実践研究</b>	1~2	1	1	1				
研究科目	解剖学	2~4	15(14)	2	1	1		がん治療専門医養成系クラスター所属の学生は、クラスター6科目必修のため、( )内の数字を適用(20) 教員の異動により、増減(20,21)	
	生理学	2~4	15(14)	2	1				
	生化学	2~4	15(14)	2		1	2		
	薬理学	2~4	15(14)	1	1		+		
	薬剤学	2~4	15(14)	+			1		
	病理学	2~4	15(14)	2	2		1		
	微生物学	2~4	15(14)	1			1		
	<b>寄生虫学</b>	2~4	15(14)				1		
	<b>免疫学</b>								
	衛生学	2~4	15(14)	1					
	公衆衛生学	2~4	15(14)	1	1		+		
	法医学	2~4	15(14)	1	+				
	医科学情報学	2~4	15(14)	1	2	+	+		
	内科学	2~4	15(14)	3	3	2	6		7
	老年医学	2~4	15(14)	1	1		+		
	精神科学	2~4	15(14)	1	1		1		
	皮膚科学	2~4	15(14)	1	1				
	小児科学	2~4	15(14)	1	1		3		+
	放射線医学	2~4	15(14)	+	2		2		
	臨床検査医学	2~4	15(14)	1	1				
	医療情報学	2~4	15(14)	1					
	外科学	2~4	15(14)	2	2		3		
	心臓血管外科学	2~4	15(14)	1	1		1		
	脳神経外科学	2~4	15(14)	1	1		1		
	小児外科学	2~4	15(14)				1		
	整形外科	2~4	15(14)	1	1	2	2		
	泌尿器科学	2~4	15(14)	1	1	2	1		
	産科婦人科学	2~4	15(14)	1	1		2		
	眼科学	2~4	15(14)	1	1		2		+
	耳鼻咽喉科	2~4	15(14)	1	1		+		
	麻酔学	2~4	15(14)	1	1		2		+
	救急医学	2~4	15(14)	1	1				
	歯科口腔外科学	2~4	15(14)	+	1		+		
	(連)脳循環代謝動態学	2~4	15(14)	(1)					

※「(連)脳循環代謝動態学」は、連携大学院科目であり、客員教授(1)の指導を受ける。

## (2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
8科目	97科目	0科目	105科目	8科目	106科目	0科目	114科目	
				[ ]	[ 9]	[ ]	[ 9]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	=	0.00
設置時の計画の授業科目数の計		

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- 2 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[ ] 内に設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
- 3 「(3) 未開講科目」は、配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 4 「(4) 廃止科目」は、設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 6 「(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。



### 3 既設大学等の状況

大学の名称	秋 田 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入定 学員 人	編入学 定員 人	収容 定員 人	学位又 は称号	定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
教育文化学部	年	人	人	人		倍		秋田市手形学園町 1番1号	
学校教育課程	4	100	—	400	学士(学 校教育)	1.11	平成10		
地域科学課程	4	65	—	260	学士(地 域科学)	1.06	平成10		
国際言語文化課程	4	65	—	260	学士(国 際言語文 学)	1.12	平成10		
人間環境課程	4	60	—	240	学士(人 間環境)	1.01	平成10		
医学部			3年次					秋田市本道一丁目 1の1	
医学科	6	115	5	615	学士(医学)	0.99	昭和45		
保健学科	4	106	14	452	学士(看 護学) 学士(保 健学)	0.98	平成14		
工学資源学部			3年次					秋田市手形学園町 1番1号	
地球資源学科	4	60	—	240	学士(資 源学)	1.01	平成10		
環境応用化学科	4	55	—	110	学士(工学)	1.02	平成20		
環境物質工学科	—	—	—	—	—	—	—	平成20年度より 学生募集停止	
生命化学科	4	32	—	64	学士(工 学)	1.06	平成20		
材料工学科	4	60	—	240	学士(工学)	1.07	平成10		
情報工学科	4	50	—	200	学士(工学)	1.13	平成10		
機械工学科	4	77	—	314	学士(工学)	1.13	平成10		
電気電子工学科	4	75	—	310	学士(工学)	1.12	平成10		
土木環境工学科	4	51	—	212	学士(工学)	1.02	平成10		
各学科共通			22	44					
大学院教育学研究科 (修士課程)								秋田市手形学園町 1番1号	
学校教育専攻	2	13	—	26	修士(教育学)	1.20	平成元		
教科教育専攻	2	31	—	62	修士(教育学)	0.59	平成元		
大学院医学系研究科 (修士課程)									
医科学専攻	2	5	—	10	修士(医科学)	0.8	平成19		
(博士前期課程)	2	12	—	24	修士(看 護学)	1.28	平成19		
保健学専攻					修士(リ ハビリ テーショ ン科学)				
(博士後期課程)	3	3	—	3	博士(保 健学)	1.33	平成21		
保健学専攻								秋田市本道一丁目 1の1	
大学院医学系研究科 (博士課程)									
医学専攻	4	30	—	60	博士(医学)	0.99	平成19		
大学院医学研究科(博 士課程)	—	—	—	—	—	—	—	平成19年度より 学生募集停止	
大学院工学資源学研究 科 (博士前期課程)								秋田市手形学園町 1番1号	

地球資源学専攻	2	18	-	36	修士(資源学) 修士(工学)	0.88	平成14	
---------	---	----	---	----	-------------------	------	------	--

大学 の 名 称								秋 田 大 学		備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地		
環境物質工学専攻	2	24	—	48	修士(工学)	1.28	平成14	秋田市手形学園町 1番1号		
材料工学専攻	2	18	—	36	修士(工学)	1.07	平成14			
情報工学専攻	2	16	—	32	修士(工学)	0.65	平成14			
機械工学専攻	2	24	—	48	修士(工学)	1.01	平成14			
電気電子工学専攻	2	26	—	52	修士(工学)	1.09	平成14			
土木環境工学専攻	2	12	—	24	修士(工学)	0.79	平成14			
大学院工学資源学研究 科 (博士後期課程) 資源学専攻	3	4	—	12	博士(資 源学) 博士(工 学)	0.66	平成14			
機能物質工学専攻	3	4	—	12	博士(工学)	1	平成14			
生産・建設工学専攻	3	4	—	12	博士(工学)	0.41	平成14			
電気電子情報システ ム工学専攻	3	4	—	12	博士(工学)	0.83	平成14			

- (注) 1 本調査の対象となっている大学等の設置者が、すでに設置している大学の学部、学部の学科について状況を記入してください。  
(大学院に係るものについては、記入する必要はありません。)
- 2 事前伺い手続き書類の「設置計画の概要」に準じて作成してください。
- 3 「定員超過率」欄には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科の記載は不要です。
- 4 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、備考欄に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。